



板一中だより

2024年4月12日

第1号

学びのエリア7年生：117名 8年生：117名 9年生：126名 計360名

板橋区小中一貫教育「板一中小中一貫学びのエリア」（板二小・板六小・板七小・板一中）



令和6年度 第78回 入学式より

○校長式辞より（抜粋）

新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。お待ちしております。板橋第一中学校の教職員及び在校生の全員で、117名の新入生のみなさんと保護者の皆様をお迎えする入学式を挙行できることを本当に嬉しく思います。私たちにとって、この上ない喜びであり、これを機に新入生と在校生、各ご家庭、そして地域の皆様のご協力を得ながら、新・板一中に変わっていきたいと思います、どうぞよろしくお願ひします。

私から、新入生のみなさんに3つのメッセージを送ります。

まず1つは、中学校での学びは、小学校までの学びとは全く違うということです。中学校の学習では、「自分で取り組めるようになる」ことを目指して成長して行ってください。これは、決して小学校までの学びに意味がないとか、軽んじているわけではありません。そして、授業の形態が変わるという方法論でもありません。中学校では、これまでの学びを大事にして、自分自身で考え、自分自身で答えを求め行動していくとい自分の力を高めるチャレンジを自分なりに行うことが必要です。分からないこと、先がみえないことは、見通しがもてず、不安で一杯になり、途中で嫌になって諦めてしまったりすることがあるかもしれません。それでも、自分の意識を切り替え、取組を考え、変化していくことが必要となります。各教科等の授業、様々な行事、そして板一中の仲間や教職員との関わりをとおして、この変化に対応する基盤となる知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力を磨き、そして主体的に取り組む力を少しずつ身に付けていきましょう。

次のメッセージです。「世界をひろげる」ということです。みなさんはスマホをもっていますか。スマホをもっていなくても、毎日の生活の中で、インターネットを利用しない日はないでしょう。様々な情報が、どこでも、タイムリーに届きあたかも全てを知ったようになりがちです。世界は多様性に満ちています。しかし、私も新入生のみなさんも、そのほんの一部しか知らないのに知った気になりがちです。自分の考えや経験だけにとらわれず、自分とは全く違う立場の人や文化に出会い、視野と想像力を広げる努力をしていきましょう。狭い世界だけに閉じこもることなく、世界を見渡して考えていくことが、これからの中学生の目ざす姿でもあると思います。日本だからとか、日本人だからできないと勝手に限界を作らないでください。野球界では大谷選手が、映画界ではゴジラの山崎監督が、音楽界ではYOASOBIが世界を席巻しています。同時に、世界では戦争や災害、環境問題などで人間の命が脅かされるような問題が山積しています。勉強や部活に打ち込むことはもちろん大切です。しかし、簡単に解決できず、解決に時間がかかるような規模の問題に、自分事として思いを巡らせることができる姿を目指してください。

最後のメッセージです。「心も体も健康に」です。みなさんは、1人ではありません。この入学式をみれば分かると思います。保護者や地域のみなさん、そして、学校の教職員や先輩がいます。さらに、これから新しい7年生の仲間が増えます。一緒に取り組んでいきましょう。

○歓迎の言葉 第9学年 森島 大和 さん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。私たちは皆さんとともに、学校生活を送れることをとても楽しみにしています。

皆さんはこれから始まるこの板橋第一中学校での生活に夢や希望を持っていると思います。同時に不安な気持ちも抱いていると思います。

私も 2 年前に入学した時は不安がありました。教科ごとになる先生、中間テストや期末テスト。クラスや部活動での新しい人間関係。今は不安に思えるこれらのことが、実際に始めてみると、とても新鮮で、これこそが中学校生活だと思えるようになります。ぜひ、板一中での生活を楽しんでください。

板一中では、学校生活を彩ってくれる行事がたくさんあります。クラスで団結して、優勝を目指す運動会や、文化会館の広いホールに歌声を響かせる文化祭でのクラス合唱、校外に出て学びを得る校外学習などがあります。ぜひ積極的に取り組んで、思い出をたくさん作ってください！

また、委員会や部活動もあります。委員会は、生徒が中心となって運営しています。仕事の重要性が高く、責任を持って役割を果たすことが大切だと感じます。部活動では他学年と関わることで様々な考え方に触れることができるでしょう。私も実際に委員会や部活動に参加したことで、先輩から学んだことがたくさんあります。

新入生の皆さん、初めは勉強や学校のルールなどでわからないことがあると思います。困ったことがあったら先生方や私たちにも何でも聞いてください。中学校での 3 年間はあっという間に過ぎていきます。1 日 1 日を大切に過ごし、充実した中学校生活を板一中でともに送りましょう。

○誓いの言葉 第7学年 吉川 次郎 さん

本日、私たち新入生 117 名は、この板橋第一中学校で新しい一歩を踏み出しました。

本日は、私たち新入生のために校長先生をはじめとする教職員の皆様、また、私たち新入生のスタートを祝してくださるために、お忙しい中お越しくくださった来賓のみなさまに心から感謝申し上げます。

私たちは、六年間の小学校生活を終えて、今日から中学生となりました。これから始まる中学校生活において、新しい出会いや、学習、行事、部活動など、楽しみなことがたくさんまっています。

私たちにとって、この板橋第一中学校は、社会という大空に向かって飛び立つための翼を準備する場所です。自分のことは自分で行い、他者のために進んで行動できるよう精一杯がんばります。大きな環境の変化や、勉強と部活動との両立などの不安もあり、進むべき方向が分からなくなったりするときがあるかもしれません。そんなときには、先輩方から学び、先生方から助言をいただき、仲間たちと支え合い、たとえ小さくても、確実に前へ、前へと進んでいく覚悟です。

ここに来まった新入生全員で、先輩方が築き上げてきた、板橋第一中学校の伝統を守り、育み、さらに発展させていくことを、ここに誓います。